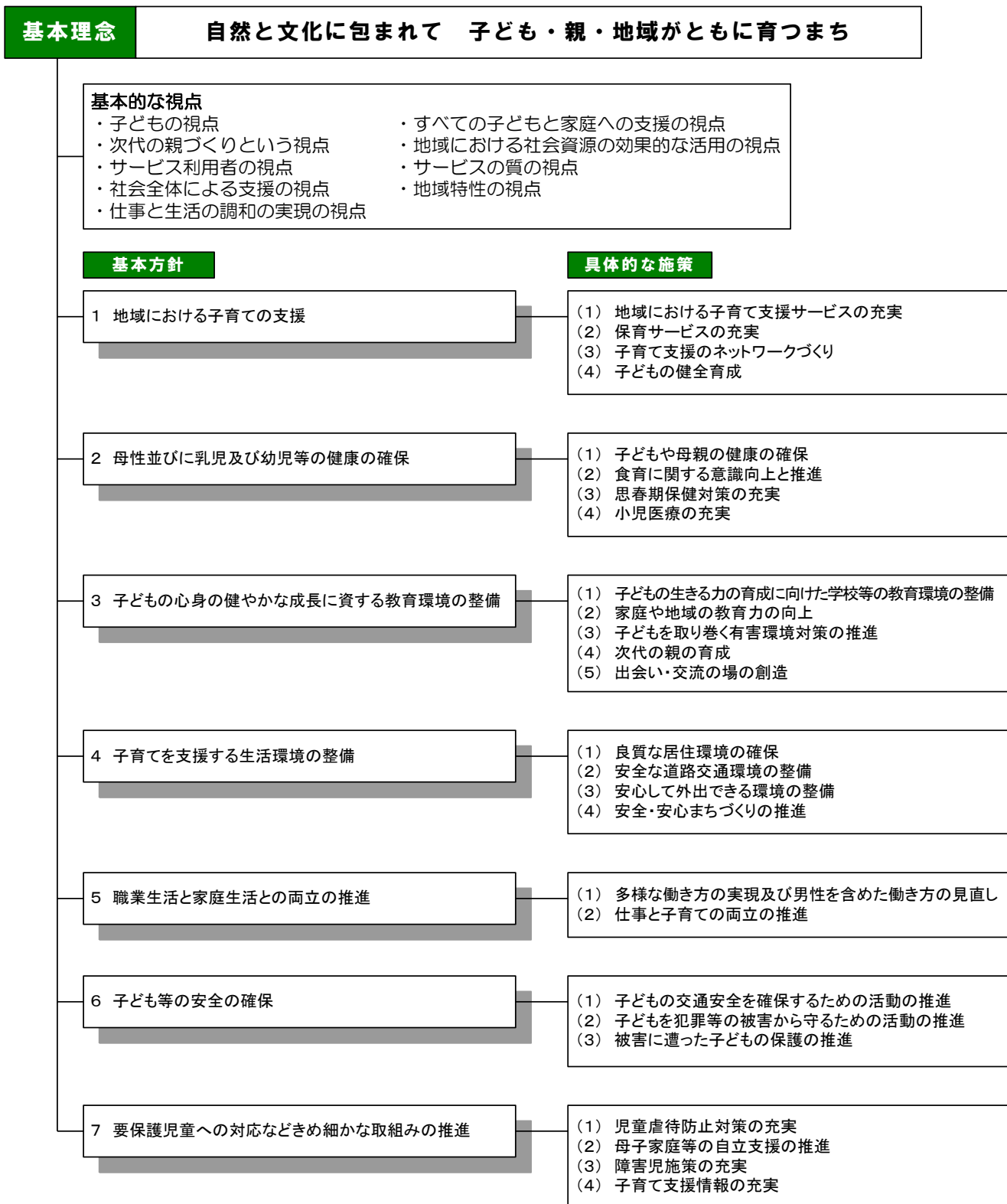


館林市次世代育成支援行動計画 後期計画

平成26年度進捗状況報告

館林市次世代育成支援行動計画の体系図



◆平成26年度次世代育成支援行動計画進捗状況

基本方針	平成26年度 計画事業数	評価A 達成	評価B 概ね達成	評価C 未達成	評価D 事業見直し	評価E 事業廃止	検討中	実施なし等	達成度 (評価A, B/事業数)
1 地域における子育ての支援	69	44	16	2	1	0	5	1	87.0%
2 母性並びに乳児及び幼児等の健康の確保及び増進	37	34	2	1	0	0	0	0	97.3%
3 子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の整備	44	29	12	3	0	0	0	0	93.2%
4 子育てを支援する生活環境の整備	14	10	1	2	0	0	0	1	78.6%
5 職業生活と家庭生活との両立の推進	18	9	4	0	0	0	5	0	72.2%
6 子ども等の安全の確保	8	8	0	0	0	0	0	0	100.0%
7 要保護児童への対応などきめ細かな取組みの推進	27	25	0	0	0	0	2	0	92.6%
合計	217	159	35	8	1	0	12	2	89.4%

各事業毎に、ABCDEの5段階で評価

◆特定事業の目標事業量・実施状況

事業名	事業内容	平成26年度 実績	平成26年度 目標事業量
通常保育事業	保護者が労働等により家庭で十分に保育することができない就学前の児童を、保護者にかわって保護養育するとともに、仕事と子育てを両立できるよう支援する事業です。	設置箇所数15園 定員数1,660人	設置箇所数15園 定員数1,660人
延長保育事業	保護者の就労形態の多様化、通勤時間の増加等、やむを得ない理由により11時間の開所時間を超過して保育が必要な場合、保育を実施する事業です。	設置箇所数9園 1時間延長 7園 30分延長 2園	設置箇所数10園 1時間延長 8園 30分延長 2園
夜間保育事業	保護者の就労形態の多様化に伴う夜間保育のニーズに対応するため、午前11時から午後10時までの11時間の開所を基本とする認可保育所で、児童の保護養育をする事業です。	検討	需要の推移を見極めながら実施を検討
トワイライトステイ事業 (夜間養護等事業)	児童の保護者が仕事のため、帰宅がいつも夜間になる場合や学校の休日に不在となる場合に、児童養護施設、または保育士等を児童の自宅等に派遣して、生活指導や食事等を提供する事業です。	検討	需要の推移を見極めながら実施を検討
休日保育事業	保護者が就労等のやむを得ない事由により、日曜・祝日等の休日において、児童を家庭で保育できない場合に、家族に代わって保護養育し、保護者の子育てを支援することを目的とする事業です。	検討	設置箇所数1園 定員数 30人
病児・病後児保育事業	病気の回復期にあるため集団保育等が難しい児童で、保護者の勤務の都合、傷病、事故、出産、冠婚葬祭等、社会的にやむを得ない事情によって家庭で保育が困難な児童（小学校低学年児童を含む）の保護養育を行い、保護者の子育てと就労の両立を支援する事業です。	設置箇所数 1か所	設置箇所数 1か所
放課後児童健全育成事業 (学童クラブ)	保護者が労働等により昼間家庭にいない場合、小学校に就学しているおおむね10歳未満の児童に対し、授業の終了後に児童厚生施設等を利用して適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る事業です。	設置箇所数 16か所	設置箇所数 16か所
一時預かり事業	保護者のやむを得ない事情により、または心理的・身体的負担を軽減するため、保育園に入園していない児童を一時的に保護養育する事業です。	設置箇所数 2園	設置箇所数 3園
地域子育て支援拠点事業	地域において子育て親子の交流等を促進する子育て支援拠点の設置を推進することにより、地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感を緩和し、子どもの健やかな育ちを促進することを目的とした事業です。	設置箇所数4か所 (センター型)	設置箇所数5か所 (センター型)
ファミリー・サポート・センター事業	援助を行いたい人と援助を受けたい人からなる会員制で行う、地域での育児に関する相互援助活動事業です。	設置箇所数1か所 会員数 153人 活動件数 183件	設置箇所数1か所 会員の拡大
ショートステイ事業	保護者の疾病、出産、監護、事故等により児童の養育が困難になった場合、児童福祉施設等で児童を一時的に保護養育する事業です。	検討	需要の推移を見極めながら実施を検討

平成26年度事業について

【変更等】 3事業

個別具体事業		事業概要	平成20年度実績	平成26年度実績内容	平成26年度 目標達成度	今後の対応及び 事業検討事項等	平成26年度目標	所管課
168	障がい児通園支援事業 →障がい児通所支援事業	障がいを有する幼児に対して、集合療養訓練の場を提供し、生活指導及び機能訓練を行います。	実施中	児童発達支援 (就学前障がい児発達支援) 実 13人 延 1,432人 放課後等デイサービス (就学障がい児放課後) 実 4人 延 105人	A	継続	継続	社会福祉課 (群馬県社会福祉事業団)
171	障がい児通園事業 →削除 168障がい児通所支援事業と統合	児童の心身発達に対する指導を実施します。	利用者数 8人 延 1,162人	※障がい者総合支援センターへ移行			療育訓練の充実	社会福祉協議会
312	たてばやし学校エコライフ活動の試行 →たてばやし学校エコライフ活動の運用	子どもたちへの環境教育・環境学習、学校生活での環境配慮活動を推進し、環境配慮行動意識の高い子どもたちを育成することにより家庭・地域への環境配慮行動の普及啓発を行う。	—	市内小学校11校、中学校5校参加による本格運用に向けた試行を行った。	A	各学校の推進体制を整え、環境活動の目的である活動宣言、活動プランの作成を行い、本格的に運用していく。	運用	学校教育課 地球環境課